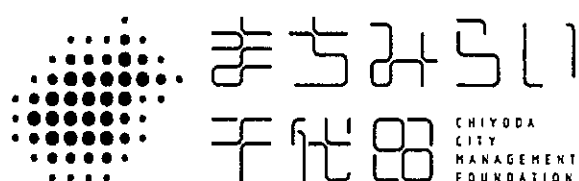


第3期 (平成27年6月1日~平成28年5月31日) 事業報告書



公益財団法人 まちみらい千代田

目 次

はじめに		1
第3期 事業報告書		
1 住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～		2
2 産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～		28
3 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりにに向けて～		46
4 理事会・評議員会・監査		57

は じ め に

まちみらい千代田は、平成 26 年 1 月に公益認定を受けた後、平成 26 年 6 月から平成 27 年 5 月までの第 2 期において、事業体系及び執行体制を見直しました。

第 3 期では、こうした見直し内容を基本に、各事業を一層充実・発展させるべく取り組みました。

『住宅まちづくり』では、まちみらい千代田がマンション関連施策の一元的な窓口であることを踏まえ、その PR に努めるとともに、新たにマンション生活の手引きである「上下二軒両隣」の冊子作成やマンション管理関係図書の貸し出しも始めました。

防災対策については、防災計画の策定等を働き掛けるため、区内分譲マンション 432 棟に対して個別訪問をしました。

また、コミュニティの構築支援として、区と協働して「マンション・カフェ」の開催に取り組んだほか、地域や関係団体等のイベントに積極的に参加しました。

『産業まちづくり』では、これまでと同様に「ビジネス起業塾」を開催しましたが、今期は更に、これまでの受講修了者の希望を受け、新たにマーケティングをテーマとした「専門講座」も開催しました。

地方との連携においては、「市町村サテライトオフィス東京」の勉強会と「ちよだフードバレーネットワーク」のイベントを同時開催するなど、食を通しての地方と都市との交流促進を支援しました。

『協働まちづくり』では、2年間休止となっていた「まちづくりサポート事業」を、テーマ部門の新設等を行い募集したところ、19 グループからの応募があり、14 グループへ助成を行いました。

賛助会員への対応では、これまでの広報紙等の資料送付に加え、10 年ぶりに事業報告会及び交流会を開催しました。

なお、平成 28 年 4 月から区所有建物を無償で借受け、その運用を開始しました。これによる収益はマンション施策の拡充など、まちみらい千代田がその役割を踏まえ、事業展開していくうえでの安定的な財源になるものと考えています。

公益財団法人まちみらい千代田

住宅まちづくり

～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに、安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

住宅まちづくり

- I マンション居住支援
 - 1 情報収集・発信
 - a) 総合相談窓口の設置 P.3
 - b) マンション管理関係図書の貸出し(新規) P.5
 - c) (仮称)「マンション生活の手引き」の作成(新規) P.6
 - d) 情報紙の発行 P.7
 - e) 管理会社との連絡会設置 P.8
 - f) マンション実態把握(拡充) P.9
 - 2 管理・コミュニティ支援
 - a) 管理組合運営支援(新規) P.10
 - b) アドバイザーの派遣 P.11
 - c) マンション管理セミナー・講座の開催(拡充) P.12
 - d) マンション連絡会の開催 P.13
 - e) マンション・カフェの開催(新規) P.14
 - f) マンション・コミュニティ構築支援(新規) P.15
 - g) コミュニティ・イベントへの参加(新規) P.16
 - 3 建物維持・整備支援
 - a) 劣化診断調査費助成 P.17
 - b) 建替え等検討調査費助成 P.18
 - c) 大規模修繕工事債務保証料助成 P.19
 - d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成 P.20
 - e) 安全・安心整備助成 P.21
 - 4 防災対策促進支援
 - a) 防災計画等策定支援(拡充) P.22
 - b) 防災用品等準備助成(拡充) P.23
- II 借上型区民住宅の管理運営
 - a) 区単独型住宅の管理運営 P.26
 - b) 特優良型住宅の管理運営 P.27

Ⅰ マンション居住支援

1 情報収集・発信

a) 総合相談窓口の設置

□事業内容

マンションに関する様々な相談を、窓口・電話・電子メール等で受け付け、その相談内容に応じて、まちみらい千代田が実施している助成制度や専門家の派遣等の支援策を活用しながら、課題の解決に向け支援していきます。

マンションの様々な課題について、専門家からのアドバイスを受けられるように第2期から、まちみらい千代田の窓口にマンション管理士を配置し相談業務に対応しています。第3期については、より多くのマンション居住者などが総合相談窓口を利用できるように周知を強化していきます。

また、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱える様々な課題等について、指導・助言を行う顧問を委託しています。

□事業規模

○窓口及び電話での相談受付

相談予定件数	第3期実績	達成率
150件	222件	148%

○マンション管理士が週5日間、平日9時から17時まで対応します。

[決算額] 5,114,880 円 (当初予算 5,821 千円)

[第3期実施状況]

マンション管理士を常駐配置し、相談業務を行うことにより、迅速な対応と的確なアドバイスに努めました。主な相談内容は、防災計画策定方法、建物の再生について、居住者間のトラブル、組合運営方法など多岐にわたります。

総合相談窓口周知用チラシを適宜配布して周知に努めた結果、昨年同期間の173件と比較して49件の増となり、予定件数を超えることができました。

[評価等]

第2期より、専門家からのアドバイスを常時受けられるように、まちみらい千代田の窓口にマンション管理士を常駐配置し対応しています。行政や類似の窓口にマンション管理士が常駐して相談態勢を執るのはあまり例がありません。

一方、まちみらい千代田での総合相談窓口を知らないマンション居住者もまだ多くいることから、周知用チラシを効果的に配布するなど周知に努めます。

今後も千代田区の地域特性による高経年マンションの再生、耐震診断、耐震改修、長期修繕計画、管理組合の運営等の相談が増えていくと想定されるため一層の相談業務の充実に努めていきます。

① 窓口相談内容・件数

内容 相談者	管理組合	修繕関係	防災関係	その他	計	
管理組合役員	17	9	1	1	28	64%
区分所有者	9	0	3	0	12	27%
その他	2	0	1	1	4	9%
計	28	9	5	2	44	
	64%	20%	11%	5		※20%

※相談全体のうち、窓口相談の割合。

② 電話相談内容・件数

内容	管理組合	修繕関係	防災関係	その他	計	
計	50	36	21	71	178	
	28%	20%	12%	40%		※80%

※相談全体のうち、電話相談の割合。

その他の主な内容は、各種助成制度の問合せ、建替え等の簡易な初期相談など。

③ 窓口・電話合計 相談内容・件数

内容	管理組合	修繕関係	防災関係	その他	計
計	78	45	26	73	222
割合	35%	20%	12%	33%	

b) マンション管理関係図書の貸出し（新規）

□事業内容

マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員等や総合相談窓口での相談者に対し、書籍貸出しサービスを実施します。

□事業規模

貸出し予定人数	第3期実績	達成率
20人	0件	0%

貸出し書籍は1人2冊まで、貸出期間は1週間とします。

【決算額】 117,151 円（当初予算 200千円）

【第3期実施状況】

第3期の新規事業です。マンションの管理等に係る図書を購入し、管理組合の役員の皆さんなどを対象として図書の貸出し事業を行っています。

貸出し図書は、国土交通省による「マンション標準管理規約」改正などを見据えて買い揃えた図書約50冊と併せ、まちみらい千代田の蔵書約300冊も活用して事業開始しました。

マンション相談窓口等の来訪者による閲覧はありましたが、貸出しはありませんでした。期限までの図書返却による再訪の手間が一因と考えられます。

【評価等】

今後は、各図書の概要やどのような問題に役立つかなどを整理して、ホームページやフェイスブック等で紹介していきます。

また、第4期においても既刊本の版の更新時期を見据えて、図書を追加購入し利用者に提供していきます。

c) (仮称)マンション生活の手引き(新規)

□事業内容

千代田区のマンションに居住している方や転入される方を対象に、千代田区におけるマンション生活での注意点やご近所との付き合い方、マンション管理組合・理事会の運営方法、建物の維持管理、千代田区の地域特性などをわかりやすく解説した、マンション生活を総合的に支援する冊子を作成し、配布します。

□事業規模

発行予定	第3期実績	達成率
平成27年10月	平成28年5月	—

体裁 A4版 32ページ カラー 10,000部

[決算額] 2,160,000 円 (当初予算 4,046千円)

[第3期実施状況]

「(仮称)マンション生活の手引き」の作成については、マンション連絡会やマンション・カフェ等で要望のあったもので、区内マンションに新たに引越してきた方やマンションに初めて住む方々のために、マンション生活の基本的なルールや千代田区の地域特性などをわかりやすく説明した冊子です。

Q&A 形式等により「ちよだインフォメーション」(便利帳)と併せご利用いただけるよう編集しました。また、この手引きの内容についてはマンション連絡会やマンション・カフェ等の参加者の意見を聞きながら作成しました。なお、掲載図画の著作権確認等に手間取り、発行が5月末と大幅に遅れました。

[評価等]

冊子名は「上下(うえした)二軒両隣〜共同生活知恵袋〜」として、錦絵を織り交ぜながら、江戸の知恵を現代に生かすコラムを随所に取り入れるなど、読みやすくしました。

また、第2期で発行した「大ナマズにご用心! 震災対策を知りましょう」と合わせて活用できるよう、同じ形態にするなどデザイン等も工夫しました。

今後は、区役所総合窓口や各出張所を通し千代田区への転入者に配布するとともに、マンション連絡会の会員や希望者、イベントでの配布をしていきます。

d) 情報紙の発行

□事業内容

①マンションサポートちよだ

マンションの維持管理や、マンションでの生活に役立つ情報を提供する情報紙「マンションサポートちよだ」を年４回（６、９、１２、３月）発行して、分譲マンションの居住者、管理組合、関係機関へ配付します。

②マンションサポートちよだ mini

「マンションサポートちよだmini」は、マンションに関係する国や東京都の動向をはじめ、首都圏での状況、マンションの管理運営方法などマンション全般にわたる情報を毎月提供していきます。

③マンションへの情報提供

マンション住民に対する情報提供の手段の１つとして、区コミュニティ振興課と連携し、区役所・まちみらい千代田・関係団体からの情報を取りまとめ、チラシやお知らせ等をマンション管理組合へ毎月送付します。

□事業規模

①マンションサポートちよだ 発行部数 10,000 部 A4 版 6 頁

（マンションへの配付は約 8,000 部）

②マンションサポートちよだmini 発行部数 500 部 A4 版 1 頁

③マンション管理組合への情報提供 送付対象 470 ケ所

発行項目	発行予定件数	第３期実績	達成率
マンションサポートちよだ	４回	４回	100%
マンションサポートちよだ mini	12回	12回	100%
マンションへの情報提供	12回	12回	100%

[決算額] 4,373,968 円（当初予算 4,572 千円）

[第３期実施状況]

マンション居住者に役立つ読まれる紙面づくりをしました。具体的な項目は「エレベーター閉じ込め事故対策」、「マンション・コミュニティ実現の方策」、「旧耐震マンションのこれから」、「共用部分の自主点検方法」、「消防・防災訓練から防災計画づくり」、「安心して暮らせるマンション」、「標準管理規約改正」等の情報を提供しました。

[評価等]

情報紙配布は管理会社の協力を得て現在 109 棟に約 6 千部を戸別配布しています。戸別配布以外の約 330 棟には、各 5 部を配布し掲示や回覧等お願いしています。今後も、マンション訪問などを通し実態を把握して、戸別配布の協力が得られる管理会社を増やしていきます。

e) 管理会社との連絡会の設置

□事業内容

区内マンションの日常管理を管理会社に委託する割合は95%に上っています。管理会社への情報提供が直接マンションの管理組合や理事会に伝わることから、管理会社と良好な関係を築くことは重要です。また、区内のマンションの実態を把握するうえでも、管理会社の役割は大きいと言えます。

第2期では、平成25年度に実施したマンション実態調査結果をもとに、区内のマンションを管理している管理会社を対象とした「千代田区マンション管理会社連絡会」を平成26年8月に開催しました。また、個別に管理会社とのヒアリングで意見交換等を行いました。

第3期では、個別ヒアリングの結果を踏まえ、効果的な管理会社連絡会の運営方法等を検討、管理会社としても役立つ場の設定を行っていきます。

□事業規模

平成28年2月25日に開催（104社に出席依頼）

連絡会予定件数	第3期実績	達成率
1回	1回 8社参加	100%

（別途、平成27年8月に郵送での情報提供をしました。）

【決算額】 18,855 円（当初予算 36千円）

【第3期実施状況】

本年2月には「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」に基く総合設計制度の説明や、千代田区マンション地域生活協力員への協力依頼などをテーマに第2回目の連絡会を開催しましたが、8社の参加にとどまりました。

また、昨年8月には、まちみらい千代田の事業について、郵送により情報提供しました。内容は、マンション関連支援制度・マンション管理セミナー・無料相談窓口・防災計画策定支援についてなどです。

【評価等】

連絡会に8社しか参加しなかったことを踏まえ、これまで判明した管理会社社内の連絡体制等を考慮し個別に参加の働きかけを行い、内容についても管理会社が興味を持つものとし、より多くの参加が得られるよう工夫していきます。

f) マンション実態把握（拡充）

□事業内容

「千代田区分譲マンション実態調査」（平成26年3月）をベースに、約3,000棟の基本的な事項についての調査を実施した「千代田区共同住宅実態調査」（平成27年5月）の結果を、マンションカルテとして作成するためデータ化の委託を行います。

また、定期的に新たなマンション建設の情報等を区や関係機関等から、情報提供が受けられる会議の設置や具体的な方法等をルール化し実施していきます。

□事業規模

入力委託予定	第3期実績	達成率
7月から12月	10月から2月	—

（平成28年3月にシステム構築を完了しました。）

〔決算額〕 0円(4,762,800円＝減価償却資産計上)

（当初予算 6,046千円）

〔第3期実施状況〕

第2期の結果をふまえ、第3期ではデータ調査を行ったものについて、建物外観などの情報が一覧表示できるように、データのシステム化を完了しました。

〔評価等〕

システムの構築後には、マンションカルテとして、新たな制度や事業展開を検討したり、区全体の状況把握が必要なときなどに活用していきます。

また、定期的に新たなマンション建設の情報等を、区や関係機関等から提供が受けられるように、具体的な方法等について区と協議しました。

2 管理・コミュニティ支援

a) 管理組合運営支援（新規）

マンション管理組合の通常総会や臨時総会を開催する際の会場費の一部を助成します。

□事業内容

- ① マンション防災計画を策定し、マンション連絡会に加入しているマンションの管理組合に対しては、通常総会・臨時総会に限り会場使用料を上限 6,000 円まで支援します。
- ② マンション防災計画は未策定で、マンション連絡会加入のマンション管理組合に対しては、通常総会・臨時総会に限り会場使用料を上限 3,000 円まで支援します。

□事業規模

- ① 防災計画策定済・マンション連絡会加入の管理組合 30 組合
- ② 防災計画未策定・マンション連絡会加入の管理組合 40 組合

項目	助成予定件数	第3期実績	達成率
①	30件	5件	17%
②	40件	2件	5%

[決算額] 13,440 円（当初予算 350 千円）

[第3期実施状況]

マンション連絡会やマンション・カフェ等で要望があった、第3期からの新規事業です。事業開始が7月になり、管理組合の総会が6月に開催されることが多いため、当初は申し込みが少なかったものと考えられます。

[評価等]

毎月実施しているマンション連絡会への案内など周知に努めた結果、5月までに7件の実績があり、6月からの第4期ではさらに周知していくとともに、総会開催場所等の実態把握に努めていきます。

b) アドバイザーの派遣

□事業内容

マンションの維持管理、修繕や建て替え、管理組合の運営といったマンションに関する様々な課題の解決や共同建築や再開発の初動期における活動に対して、専門家による専門的、技術的な見地からアドバイスを受けることができるよう、まちみらい千代田に登録しているアドバイザーの中から、一級建築士、マンション管理士、再開発プランナーなどの資格を持つ適切な人材を派遣します。(1団体あたり派遣回数の上限は3回です。)

□事業規模

共同化・再開発・建替に関する派遣4団体(12回)、
マンションの維持管理に関する派遣2団体(6回)を予定しています。

派遣項目	派遣予定件数	第3期実績	達成率
共同化・再開発・建替	4団体 12回	3団体 8回	75% 67%
マンション維持管理	2団体 6回	6団体 6回	300% 100%

[決算額] 210,000 円(当初予算 270 千円)

[第3期実施状況]

アドバイザー派遣の内容は次のとおりです。

- ・沿道まちづくり再開発に関すること 1団体 再開発プランナー派遣
- ・マンション単棟の建替に関すること 2団体 マンション管理士派遣
- ・マンション維持管理に関すること 6団体 マンション管理士派遣

再開発プランナーのアドバイザー派遣は、現在も継続して支援中です。また、建替え案件は区の建築担当課とも検討協議し、継続1・断念1となりました。

維持管理に関しては、マンション管理士派遣により方向性が決まりました。

[評価等]

アドバイザー派遣は総合相談窓口や電話相談からの引継ぎもあり増加の傾向にあります。特に東日本大震災以降は、建替えや大規模修繕等についての相談が増加しています。また、管理組合の運営に関する対応も増え、居住しているマンションに対する関心の高まりがうかがえます。今後も高経年マンションが多い千代田区の特性から、アドバイザー派遣の需要の増加が見込まれます。

c) マンション管理セミナー・講座の開催（拡充）

(1) マンション管理セミナー

□事業内容

マンション居住者等を対象とした専門家によるセミナーを開催します。

第3期の内容は、マンション管理組合でのコミュニティ活動や耐震改修工事の実施をマンション管理組合理事長から発表する機会を設けるなど、他のマンションが参考としていただけるような内容で実施していきます。

□実施予定時期 年1回（9月頃を予定）

(2) マンション管理講座

マンション管理組合の役員やマンション居住者等を対象として、基本編と応用編の2つの講座を年1回ずつ3日間のシリーズで実施します。

□事業内容及び実施予定時期

- ① 基本編 マンション管理の基本をテーマに設定、7月に実施します。
- ② 応用編 個別のテーマ（管理組合の会計・高経年マンションの建替・耐震診断と耐震改修等）を設定、11～12月に実施します。

[決算額] 211,436 円（当初予算 441 千円）

[第3期実施状況]

(1) マンション管理セミナーは「旧耐震マンションの再生」をテーマとして9月12日（土）区民ホールで開催しました。参加者数は約80名でした。

(2) マンション管理講座は①基本編34名②応用編17名の参加でした。

日 時		内 容
基本編	7 / 8 (水) 19:00～20:30	管理組合員の役割と心得
	7 / 15 (水) 19:00～20:30	マンション生活のルール
	7 / 22 (水) 19:00～20:30	マンションの建物・設備を知ろう
応用編	11 / 25 (水) 18:45～20:15	マンションの維持管理と修繕
	12 / 2 (水) 18:45～20:15	大規模修繕工事の進め方
	12 / 9 (水) 18:45～20:15	維持管理の限界とマンション再生

[評価等]

管理講座は3回シリーズ定員30名での開催でしたが、継続しての参加が難しい事を考慮して、第4期からは開催形式や内容について再検討します。管理セミナーについては、マンション・カフェとの連携を工夫していきます。

d) マンション連絡会（旧理事長連絡会）の開催

□事業内容

千代田区マンション連絡会は、区内マンション管理組合の理事長を会員として、まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか、マンション管理組合の皆さまによる情報交換会を行っています。

情報交換会は、管理組合の理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者が参加できます。（隔月で偶数月に開催を予定しています。）

□事業規模

情報交換会予定件数	第3期実績	達成率
6回	5回	83%

〔決算額〕 125,297 円（当初予算 180千円）

〔第3期実施状況〕

情報交換会を偶数月に開催し、区や関係団体等からの情報提供と理事長など参加者同士の意見交換をしました。（6月は選挙の関係で4月と併せ5月に開催）

○情報交換会の概要

日付（参加者数）主な議題	主な内容
8月29日（13名） マンション地域生活協力員	マンションすまい・る債、マンション共用部リフォーム融資、マンションみらいネット等
10月31日（10名） 仮称マンション生活の手引き	消防署集合自衛消防訓練、エレベータ閉じ込め救出訓練の試行事業実施への協力依頼など
12月12日（9名） マンションコミュニティ形成	コミュニティ・イベントについて、いわゆる民泊について、立体駐車場の空き対策など
2月27日（16名） マンション関係書類の電子化	給排水設備の修繕、旧基準のエレベータ改修、共用部照明のLED化、防災用井戸掘削など
4月16日（15名） マンション省エネ助成制度	電力小売り自由化、マンション保険料値上げ、標準管理規約改正及びコミュニティ条項など

〔評価等〕

平成27年4月1日現在、区内の分譲マンションは約430棟存在しますが、会員数は約80棟です。今後も機会あるごとに連絡会加入を促していきます。

参加者の感想は「他のマンションと情報交換ができて、とても参考になるし、まちみらい千代田等からの情報提供は大変有意義だ」との評価を得ています。

皆さんからの意見を参考に、第4期の新規・拡充事業に取り組んでいきます。

e) マンション・カフェの開催（新規）

□事業内容

第2期に予定していた「出張所単位での相談会の実施」の事業を見直し、平成26年11月から、マンション居住者が生活するうえでの困りごとの相談や、居住者同士の意見交換ができる場として「ちよだマンション・カフェ」を区と共同で実施します。出張所地域ごとに区民館等で開催します。

第2期では、マンションの防災対策関係の講演を冒頭に行い、その後にグループごとに意見交換を行いました。

第3期では、子育てや高齢者の見守り等の講演を行うほか、真打によるマンション落語も実施していきます。

□実施予定時期・回数 奇数月2会場開催・12回

□事業規模

項目	実施件数／予定件数 達成率	第3期実績・参加人数等
マンション カフェ	6回／12回 50%	・和泉橋区民館 6/13 29名 ・富士見みらい館 8/1 16名 ・神田公園区民館 10/3 3名 ・神保町区民館 10/24 15名 ・万世橋※ 11/3 51名 ・和泉橋区民館 11/14 2名

[決算額] 151,579 円（当初予算 382 千円）

[第3期実施状況]

区民館等を巡回しながら、マンション居住者が気軽に相談や意見交換できる場として「ちよだマンション・カフェ」を原則、奇数月に麹町地区・神田地区各一箇所ずつ月2回開催し、これまで計6回実施115名の参加でした。

意見交換会前の催しとして、マンション落語・コーヒーセミナー・家具転倒防止を各2回ずつ実施し、地域行事※に出張参加しての開催も1回試みました。
※ 外神田五軒町町会ファミリー会（於アーツ千代田3331）での出張開催。

[評価等]

本来の事業目的であるマンション居住者の参加が少ない状況等から、今後の運営手法等について、区のコミュニティ振興課と協議・検討した結果、第4期からは民主導によるマンション・カフェの実施を目指すことになりました。

f) マンション内コミュニティ構築支援（新規）

□事業内容

マンションの維持管理や防災対策、管理組合活動などを円滑に進めることができるよう、その前提になるコミュニティ形成に関する活動などの支援を行っていきます。

第2期で実施した「マンションコミュニティ施策に関する調査」結果を踏まえ、試行的にマンションのコミュニティ活動への支援として、その活動費用の一部を助成し、その効果の検証を行います。

（助成内容：対象経費の1/2、上限は地域協働3万円、マンション内2万円、対象はマンション連絡会会員・防災計画策定マンション）

□事業規模

項目	助成予定件数	第3期実績	達成率
地域協働オープン開催	5件	4件	80%
マンション内限定開催	5件	2件	40%

〔決算額〕 151,212 円（当初予算 250千円）

〔第3期実施状況〕

これまでに、マンション近隣の地域協働としてオープン開催した4件、マンションの居住者に限定して開催した2件について助成しました。

〔評価等〕

この助成事業について効果を検証した結果、第4期から居住者数による助成額の割増として、概ね100戸以上を対象に5割加算して本格実施します。

また、コミュニティ・イベントに使用するテント等の機材を貸出します。

g) コミュニティ・イベントへの参加（新規）

□事業内容

区で実施しているイベントに参加し、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション管理士による相談業務等を実施します。

また、町会等が実施する行事にまちみらい千代田として試行参加します。

□実施予定時期と結果

- ① 福祉まつり 平成 27 年 9 月 区民ホール ⇒ 平成 28 年 3 月 19 日
まちみらい千代田の事業周知とともに、グッズ 270 個を配布しました。
- ② くらしの広場 平成 27 年 10 月 区民ホール
マンション管理士による相談業務と、まちみらい千代田の事業等の周知。
⇒ 11 月 6 日 クイズラリーの問題「マンションの相談事といえば？」
答え「まちみらい千代田」と周知して、グッズ 420 個を配布しました。
- ③ 地域町会等のイベント 平成 27 年 7 月から 8 月
町会等のイベントに、まちみらい千代田のブースを設け、マンション居住者と参加します。（麴町地区・神田地区の 2 地域で試行実施）
⇒ 11 月 3 日 外神田五軒町町会ファミリー会 アーツ千代田 3331
事業周知ビデオ上映 防災グッズ展示 輪投げコーナー計 165 人
11 月 8 日 四番町町会設立 60 周年記念事業 千代田女学園
事業周知チラシ配布 焼きそば提供 300 食 グッズ 180 個配布
- ④ グッズの作成 平成 27 年 7 月
各種イベントへの参加者や調査等の際の協力者等に配布するもので、まちみらい千代田を PR するために作製するものです。
⇒ 10 月 名入り LED ミニライト & ホイッスル 4 色計 1440 個作成
防災グッズとして消防署も推奨する、アルミ製の 2 点セットです。

[決算額] 657,169 円（当初予算 849 千円）

[第 3 期実施状況]

イベントにまちみらい千代田として参加することにより、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション居住者が行事に参加しやすい環境をつくり、町会とマンション居住者のコミュニティづくりの一助になることを目的としています。また、まちみらい千代田を多くの人に知ってもらうため、イベント等で配布するグッズを作成し周知活動に利用しました。

[評価等]

マンション居住者をイベントでの参加者としてだけでなく、主体者としての活動ができるよう、例えばブース内での協働活動を進めています。

3 建物維持・整備支援

a) 劣化診断調査費助成

□事業内容

マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握のために劣化診断調査を行う必要があります。

劣化診断調査実施と長期修繕計画を作成する際の費用を助成します。

①劣化診断調査のみ 対象経費の1/2、上限50万円

②劣化診断調査と長期修繕計画の作成、見直しの場合
対象経費の1/2、上限80万円

□事業規模

助成予定件数	第3期実績	達成率
5件	7件	140%

[決算額] 2,210,000円（当初予算 2,750千円）

[第3期実施状況]

7件については、建物の劣化診断調査のみの助成で、それぞれの助成額は、
①15、②50、③15、④50、⑤30、⑥20、⑦40万円です。

大規模修繕工事・長期修繕計画作成等の窓口での相談の際や、アドバイザー派遣の際に、事前調査として建物の劣化診断調査の必要性や当該制度の活用について説明しました。

[評価等]

引き続き、大規模修繕工事の前だけではなく、長期修繕計画の見直しや作成の際にも、当該制度を活用できることなどを周知し、既存のマンションが良好に保てるよう支援を続けます。

また、第4期から新たに「簡易耐震診断」への助成を実施します。

b) 建替え等検討調査費助成

□事業内容

築後30年を経過したマンションで、建替えを検討する際の事前調査や大規模修繕を進める際の事前調査費用やコンサルタント費用等の一部を助成しています。この事業は平成15年から実施しています。

(助成内容：対象経費の1/3、上限100万円)

□事業規模

助成予定件数	第3期実績	達成率
1件	1件	100%

[決算額] 0円(1,000,000円：申請は今期、支払いは来期)
 (当初予算 1,000千円)

[第3期実施状況]

マンションの建替え相談や大規模修繕の相談に来られたマンションの役員に対して、当該制度を詳しく説明し、活用を働きかけてきました。

しかし、理事会での検討や管理組合での合意形成等に時間を要することからここ3年間は申請がありませんでしたが、このたび過去にアドバイザー派遣を利用したマンションへの助成が決定しました。引き続き支援していきます。

[評価等]

平成25年(第1期を含む)から実績はありませんでしたが、千代田区の特性として、築後30年を経過するマンションが増加してくることから、制度内容等のより一層の周知をしていきます。

今後も無料相談窓口やアドバイザー派遣などから、建替えの検討を行う際に当制度の活用を説明し、建物の更新等を促進していきます。

c) 大規模修繕工事債務保証料助成

□事業内容

住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の共用部リフォーム融資を受け、（公財）マンション管理センターに債務保証を委託した際に、かかる手数料の一部を助成しています。（助成内容：対象経費の1/2、上限50万円）

□事業規模

助成予定件数	第3期実績	達成率
1件	2件	200%

[決算額] 798,000円（当初予算 500千円）

[第3期実施状況]

助成対象はマンション連絡会に加入している管理組合で、アドバイザー派遣などこれまで支援してきた旧耐震マンションの耐震補強工事に対してと、給排水管の大規模修繕工事に対するものです。

当該助成の前提となる「住宅金融支援機構」や「マンション管理センター」の制度を活用した案件です。両団体とは日頃から連絡調整を行っており、マンション連絡会の情報交換会に担当者派遣を依頼し説明していただきました。

[評価等]

大規模修繕工事については、共用部リフォーム融資を受けるマンションが少ないことから、年間1件から2件となっていますが、今後は増加が見込まれます。

引き続き、広報紙やホームページなどに掲載するとともに、窓口相談やアドバイザー派遣の際にも説明していきます。

d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

□事業内容

千代田区内で再開発や共同建替え、マンション単棟の建替を行う団体に対して平成10年から、その活動費用の一部を助成しています。(助成内容対象経費の1/2、上限は再開発・共同建替50万円、単棟建替30万円)

□事業規模

項目	助成予定件数	第3期実績	達成率
再開発・共同建替	1件	0件	—
マンション単棟建替	2件	1件	50%

[決算額] 300,000円(当初予算 1,100千円)

[第3期実施状況]

アドバイザー派遣などで支援してきたマンションが、単棟での建替え検討組織を立ち上げて、その活動に対して1件助成を行いました。

また、マンションの建替えや大規模修繕についての相談者や、マンションの役員などに対して、当該制度を詳しく説明し活用の働きかけをしました。

[評価等]

今後、高経年マンションが多いという千代田区の地域特性や「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」改正により再開発・共同化・建替え等は増えていくことが想定されます。

窓口相談だけでなく、まちづくりアドバイザー派遣の際にも詳しく説明し活用を働きかけていきます。

e) 安全・安心整備助成

□事業内容

共用階段や、階段からの避難経路上の「手すり設置」や「段差解消」に関する工事を行う場合や、「地震時管制運転装置」・「戸開走行保護装置」が設置されていないエレベーターに装置を設置する場合に、その費用の一部を助成しています。（対象経費の1/3、上限は手すり設置又は段差解消100万円、地震時管制運転装置30万円、戸開走行保護装置30万円）

まちみらい千代田において、申請等の事務を行い、完了後の経費支出についての事務は、区で行います。

□事業規模

項目	助成 予定件数	第3期実績	達成率
手すり設置又は段差解消	2棟	5件	250%
地震時管制運転装置	5基	0件	—
戸開走行保護装置	3基	0件	—

[決算額]（区支出額 2,560,000円）（区予算額 4,400千円）

[第3期実施状況]

千代田区建築指導課で実施していた制度ですが、平成26年7月より、当該支援制度の申請から協議・完了までの事務処理をまちみらい千代田が行い助成金の支払いは区が行なっています。エレベーター装置設置の実績はありません。

[評価等]

第4期からは助成金の支払いも、まちみらい千代田が担い事業の一元化を図るとともに助成項目の見直しを行い、エレベーターのリニューアル助成、防犯カメラの設置など安全・安心整備のより一層の促進を図っていきます。

4 防災対策促進支援

a) 防災計画等策定支援（拡充）

□事業内容

マンションの防災計画策定を予定している管理組合に対して、防災アドバイザーの派遣を行い、そのマンションの実態に即した計画策定の支援を行います。また、防災計画の策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についてもお手伝いします。

□事業規模

防災アドバイザー派遣 予定件数	第3期実績	達成率
100棟（300回）	8棟（22回）	8%（7%）

マンション防災訓練については7回実施、5回支援しました。

〔決算額〕 1,170,285 円（当初予算 4,746千円）

〔第3期実施状況〕

まちみらい千代田の職員とマンション管理士がチームを組んで、区内の分譲マンション全432棟を対象として個別訪問等により事業の周知を図りました。

マンションの防災計画策定は、管理組合や理事会での合意形成に時間を要し防災アドバイザー派遣での策定は8棟ですが、防災計画策定が助成の要件である次項の防災用品等準備助成のE Vキャビネットの配布で12棟、AEDの設置で14棟、災害用資器材等購入費助成で10棟のうち、計18棟が防災計画を策定しました。これまでに区の防災担当課より事業移管を受けた第2期から通算して48棟のマンションに防災計画を策定することができました。

防災訓練については、マンション単独での実施が2回、マンションと町会での実施が1回、避難所訓練が4回の計7回でした。その他、マンションと消防署・区防災担当課など関係機関との連絡調整を支援したものが5回ありました。

〔評価等〕

防災計画が未策定のマンションに対しては、防災アドバイザーの活用を促すなど積極的に働きかけていきます。また、防災計画策定支援パンフレット等を活用して、個別にマンションを訪問するなどして周知を強化していきます。

その際は、防災計画策定の必要性を説明するほか、まずは防災用品等の準備助成を受けることなど、防災計画策定につながる支援をしていきます。

さらに、防災計画策定後には防災訓練の実施を働きかけて行きます。

b) 防災用品等準備助成（拡充）

原則、防災計画を策定している管理組合に対し、EV キャビネットの配付、AED の設置並びに災害用資器材等購入費助成を行います。

□事業内容

(1) EV キャビネットの配付

エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要となる物資を入れたキャビネットを配付します。

(2) AED の設置

マンション内だけではなく近隣地域で利用できる AED をマンションに設置する場合、AED と収納ボックスを無償提供します。

これまでは、マンション内で3名の救命講習受講者が必要な要件となっていました。現在提供しているAEDは誰もが使用できるようになっていることやマンションに設置する際に使用方法等の説明を行っていることから、受講者要件を撤廃することとしました。

(3) 災害用資器材等購入費助成

災害発生時に必要となる窓・ドアの破壊器具（バールやハンマー等）や避難器具、発電機や非常用テント等の資器材の購入、また、水や非常食、携帯トイレ等の備蓄物資の購入の一部費用を助成します。

（助成内容：経費の1/2で上限額は、分譲15万円、賃貸10万円）

□事業規模

項目	予定件数	第3期実績	達成率	第2期
EV キャビネットの配付	20件	12件	60%	10件
AED の設置	25件	14件	56%	5件
災害用資器材等購入費助成	新規10件 更新 6件	10件 0件	63%	7件

〔決算額〕 2,333,148 円（当初予算 10,399千円）

〔第3期実施状況〕

防災用品等準備助成については、問合せ等が多くあるにもかかわらず、管理組合・理事会での合意形成が必要になることから、マンション内で時間を要す案件となり、管理組合や理事会での検討に留まっている場合が多いようです。

〔評価等〕

各種助成制度については、広報紙やチラシ、ホームページなどで周知を強化していきます。助成制度の活用を希望するマンションでは、マンション防災計画策定と一体的な事業であることから、計画策定を最優先とし、各マンションに対し、マンション管理士と職員が個別訪問する等して周知を強化します。

II 借上型区民住宅の管理運営

区民の居住の安定と福祉の向上を図り、定住人口の確保に寄与する

借上型区民住宅は、民間の地権者が建設した集合住宅を、一定の期間、まちみらい千代田が一括して借り上げ、所得が一定の基準の範囲内にある中堅所得層の世帯を対象にして賃貸する公的な住宅です。入居者には、世帯の所得に応じて家賃の一部助成があり、家賃負担を軽減するよう配慮されています。家賃(入居者負担額)・共益費・敷金を除き、礼金、手数料、更新料などの負担はありません。

借上期間満了の時期も迫っていますが、区と連携し、入居者の生活基盤である住宅の適切な管理運営に努めていきます。

※ 借上期間満了後への対応について

[第3期実施状況]

平成28年度前期に借上期間満了を迎える住宅(クリダイヤモンド、グリーンハイツ富士見)の入居者に対し、借上期間満了後の居住について説明会を重ねました。

平成28年6月に借上げ期間満了を迎えるクリダイヤモンドについては、高齢などの理由により、新たな賃貸借契約の前提条件である保証会社の利用が困難な入居者等へ個別支援するとともに、所有者等との協議を重ねた結果、全入居者が希望する住宅へ入居することができました。

一方、平成27年9月10日付で住宅供給者(所有者)全員が、まちみらい千代田を被告として、借上期間満了までに全居住者を退去させることを求め、裁判所に提訴しました。同提訴では期限までに退去するよう、上記の2住宅の居住者も被告としていました。その後、平成28年2月22日に原告の訴えを却下する旨の判決が下りました。

[評価等]

借上期限満了が近い住宅から順次、説明会を行います。また、借地借家法に基づき、契約満了の1年前から半年前までに「契約を更新しない旨の通知」を各入居者へ送付します。(定期借家契約者は除きます。)

入居者によって家族構成、所得等が異なるため、個別相談が増えることが想定されます。区の方針に基づき、各入居者の状況に応じた説明を行っていきます。

■借上型区民住宅一覧（職員住宅は戸数に含んでいません）

	建物名称（借上期限満了日）	住所	戸数	戸数計
区 単 独 型 93 戸	クリダイヤモンド（平成28年6月11日）	神田佐久間町3-37	14	152
	グリーンハイツ富士見（平成28年9月25日）	富士見1-2-19	23	
	ブルミエール一番町（平成29年2月24日）	一番町4	15	
	センチュリーハウス21（平成29年2月28日）	神田司町2-5	16	
	鈴重東神田コート（平成29年4月10日）	東神田1-5-4	14	
	神田ハイム（平成29年5月20日）	外神田6-6-6	11	
特 優 賃 型 59 戸	テルセーロ三鈴（平成30年5月26日）	岩本町1-12-7	14	
	パリセイド東神田（平成30年8月3日）	東神田3-2-1	16	
	コンフォートタカシマ（平成31年5月31日）	岩本町1-2-16	12	
	SHフラット（平成32年8月31日）	神田和泉町1	17	

■面積、間取り

面積			間取り		
2DK	75戸	49.3%	50㎡未満	6戸	3.9%
			50㎡以上～55㎡未満	20戸	13.2%
2LDK	46戸	30.3%	55㎡以上～60㎡未満	60戸	39.5%
			60㎡以上～65㎡未満	30戸	19.7%
3LDK	31戸	20.4%	65㎡以上～70㎡未満	9戸	5.9%
			70㎡以上	27戸	17.8%
計	152戸	100.0%	計	152戸	100%

a) 区単独型住宅の管理運営

□事業内容

- ① 入退去管理
- ② 家賃・共益費等の収納管理
- ③ 居室内の小修繕対応
- ④ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑤ 賃料・共益費の見直し
- ⑥ オーナーへの各種報告
- ⑦ オーナー会、自治会の実施
- ⑧ その他住環境の良好な維持に関する業務

[決算額] 253,405,172 円 (当初予算 253,990千円)

[第3期実施状況]

1. 入退去管理 (入居：0戸) (退去：8戸)

退去時に原状回復工事前の確認を徹底し、工事費用の負担割合や敷金の精算を適切に処理しました。

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数：8戸・月平均滞納額：1,330,301円

(前年同期間比 8戸 1,029,392円)

家賃滞納は昨年より増加となりました。個別訪問等で滞納額減少に努めます。

3. 居室内の小修繕対応 (対応戸数：14件)

築年数経過により各戸での修繕対応が増加傾向にあります。生活にかかわる修繕もあることから、いち早く修繕対応を行いました。

現状では、住宅管理をするうえで大きなトラブルもなく運営できています

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理 (調査戸数：92戸)

[評価等]

借上期限満了が近い住宅は退去者の増加が想定されます。退去に伴う原状回復工事から精算まで迅速に対応し、事務処理に支障のないようにしていきます。

また、高齢等の理由により、新たな賃貸借契約の前提条件である保証会社の利用が困難な入居者へ個別支援するとともに、所有者等と協議をしていきます。

b) 特優賃型住宅の管理運営

□事業内容

- ① 入退去管理
- ② 家賃・共益費等の収納管理
- ③ 居室内の小修繕対応
- ④ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑤ 建物保守管理、共用部の維持管理
- ⑥ 調査報告書等の作成
- ⑦ 賃料・共益費の見直し
- ⑧ オーナーへの各種報告
- ⑨ オーナー会、自治会の実施
- ⑩ その他住環境の良好な維持に関する業務

[決算額] 157,772,414 円 (当初予算 162,572千円)

[第3期実施状況]

1. 入退去管理 (入居：2戸) (退去：5戸)

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数：5戸・月平均滞納額：704,750円

(前年同期間比 5戸 630,300円)

家賃滞納は昨年より増加となりました。個別訪問等で滞納額減少に努めます。

3. 居室内の小修繕対応 (対応戸数：20戸)

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理 (調査戸数：59戸)

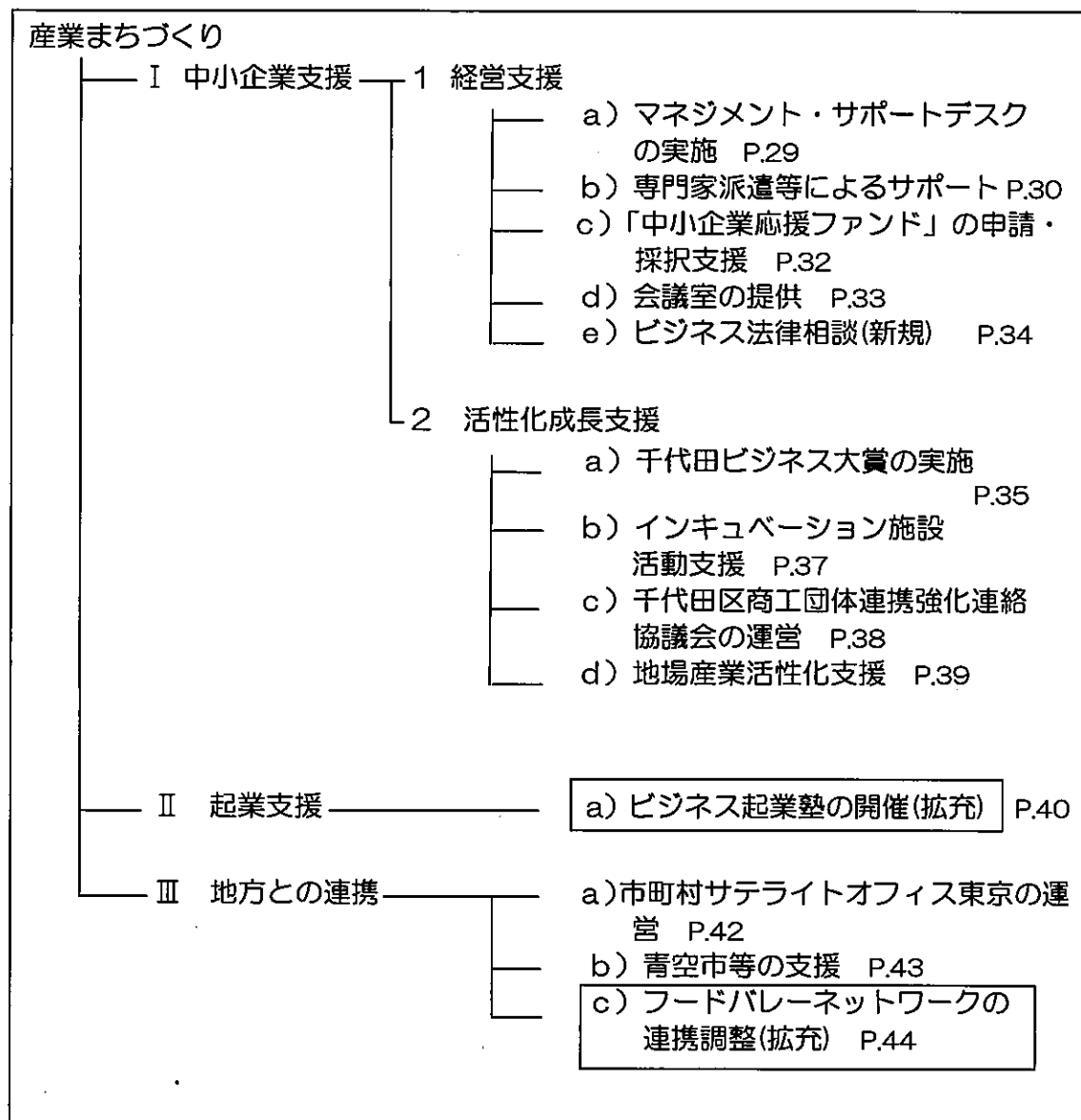
入居世帯の状況を正確に把握するため、区単独型住宅とともに所得調査時は住民票の提出を求めた結果、入居者負担金額の正確な算出根拠にもなりました。

[評価等]

住宅の年数経過により、建物、各設備の経年劣化が見受けられます。特に、共用部設備の不具合（床シート剥がれ、ドアの歪み等）の報告が、管理会社や入居者より多くなってきて、状況を住宅供給者へ報告し対応を依頼しました。入居者の生活環境を維持するうえでも、設備不具合により入居者に怪我等ないよう住宅供給者、建物管理会社と協力し引き続き建物維持管理に努めます。

産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに、企業を活性化し地域社会との良好な関係作りのお手伝いをします



I 中小企業支援

1 経営支援

a) マネジメント・サポートデスクの実施

☐事業内容

中小企業が抱える経営上の様々な相談を、窓口・電話・電子メールなどで受付、その相談内容に応じて、公的機関の実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用するなど、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。

☐事業規模

相談予定件数	第3期実績	達成率
30件	36件	120%

[決算額]

0円

(当初予算 11千円)

[第3期実施状況]

資金の調達方法、国や都の補助金・助成金の申請、創業補助金の相談、起業塾卒業生の相談、起業塾受講にあたっての相談、東京五輪に向けた事業展開の相談、インキュベーション施設への入居方法など幅広い相談がありました。

[評価等]

経済産業省関東経済局や東京都、東京都中小企業振興公社、政策金融公庫等の実施する新年度の施策情報を入手し、相談者に対し適切な助言を行いました。また、創業補助金取得に要する千代田区の認定において区と連携し適切に対応することができました。



b) 専門家派遣等によるサポート

□事業内容

（公財）東京都中小企業振興公社が実施する専門家派遣事業及び（地独）東京都立産業技術センターが実施する実地技術支援を受けた企業に、その利用料金の一部を助成します。これにより、各機関の支援制度の活用を促進し、企業の負担の軽減を図ります。企業がそれぞれの機関から派遣される専門家のアドバイスを受やすくすることで、企業の抱える経営上の課題や技術的な課題の解決を図ります。

□事業規模

項 目	予定件数/回数	第 3 期実績	達成率
専門家派遣	15 社/120 回	13 社/77 回	86.7%/64.2%
実地技術支援	5 社/15 回	1 社/3 回	20.0%/20.0%

[決算額]

800,000 円

（当初予算 1,384 千円）

[第 3 期実施状況]

専門家派遣については、今期は件数及び回数が前年度より微増となりました。公社の予算編成上、上期に募集が殺到した結果 10 月以降の採択件数が大きく減少したため、前年同様区内企業においても採択漏れがあったものと推測されます。

実地技術支援については、1 社 3 回となり、予定件数を下まわりました。実地技術支援は千代田区内に中小企業の製造工場が少ないため社数は上がらないものと推測されます。また、本社登記がある場合、他県にある工場は対象となることが知られていないことも実績が上がらない要因と考えられます。

[評価等]

東京都中小企業振興公社と連携をし、公社の申請時に千代田区内企業にはまちみらい千代田の申請書を直接渡してもらうなどし、申請漏れはないようにしています。引続き、中小企業団体に周知を図り、公社の予算の早期執行

により申請できないことがないように年度初めに応募するよう周知していきます。

実地技術支援については、制度の周知が産業技術研究センターにおいても行き届いていないため、千代田区内においては、パンフレットを作成し、周知を行っていきます。

c)「中小企業応援ファンド」の申請・採択支援

□事業内容

(公財)東京都中小企業振興公社が実施する「中小企業応援ファンド」は、東京都の都市課題の解決や地域資源の活用といった地域活性化に資するビジネスに取り組む中小企業等に助成金(助成対象経費の1/2助成、限度額800万円)の交付によって重点的に支援する事業です。

まちみらい千代田は、(公財)東京都中小企業振興公社から「地域応援ナビゲータ」の認定を受けており、応募企業に対して、事業の立ち上げから助成金採択、事業化までの継続的支援を行う職員及びまちみらい千代田が委嘱する中小企業診断士によるきめ細かな支援を行っています。

□事業規模

支援予定件数/回数	第3期実績	達成率
3件/9回	3件/6回	66.6%

[決算額]

0円

(当初予算 1,500千円)

[第3期実施状況]

年2回の募集が行われましたが、2社が申請を行い1社は準備が整わなかったため、次年度の募集にて準備を進めることになりました。申請を行った企業の内容は、海外と日本の企業のビジネスマッチング(日本の企業と海外企業の橋渡し)の企画と明治時代の鹿鳴館で使われた着物でつくったドレスを使った新たなファッションの創出の企画でした。2社とも最終審査まで残りましたが、残念ながら採択には至りませんでした。

[評価等]

東京都中小企業振興公社の実施事業であり、千代田区の企業の支援先の一つとして当財団が位置付けられており、申請から採択まできめ細かなサービスを提供しています。

d) 会議室の提供

□事業内容

用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態から、ちよだプラットフォームスクウェア 4 階・5 階の会議室を、区内中小企業等に廉価で貸出し、企業活動を補助・支援します。

□事業規模

貸出予定時間	第 3 期実績	達成率
21,000時間	21,761 時間	103.6%

[決算額]

29,461,912 円

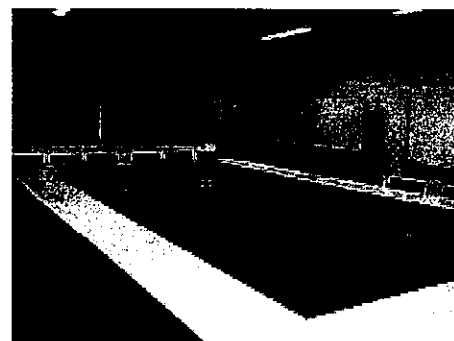
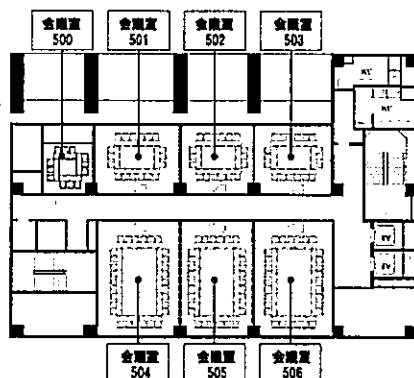
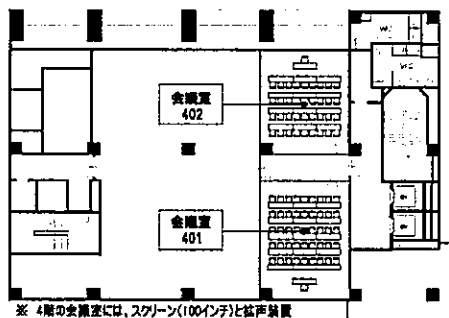
(当初予算 32,507 千円)

[第 3 期実施状況]

貸出し時間数は計画を上回りました。

[評価等]

運営委託会社に対しては、これまで通り利用者の立場に立った対応を行うよう求めています。



e) ビジネス法律相談（新規）

□事業内容（新設事由）

自社内で法務担当を置くことが困難な中小企業から要望のあった、契約や労務など事業活動中に発生する様々な法的対応が必要な事例に対して、的確な対応ができるよう弁護士によるアドバイスを受けられる事業を新たに実施します。（予約制）

□事業規模

相談予定回数	第3期実績	達成率
12回	3回（3件）	25.0%

[決算額]

57,000 円

（当初予算 255 千円）

[第3期実施状況]

今期は、3件3回の利用がありました。毎月第2金曜日と特定日での対応だったため、急を要する相談については、東京都中小企業振興公社の法律相談を斡旋するケースが3回ありました。

○主な相談内容

- ① 起業に関する相談
- ② 新規事業が法律へ抵触するか、抵触した際の対処法について
- ③ 賃貸借契約更新における更新の拒絶について

[評価等]

まちみらいニュース等を活用して事業の周知を図っていくとともに、区の消費者相談センターと連携し、PRの強化に努めていきます。

また、特定日の相談となるため、急を要する相談に対応することができませんでした。このため、第4期は、随時受付出来るよう相談室の設置等、相談しやすい環境を整えていきます。

2 活性化成長支援

a) 千代田ビジネス大賞の実施

□事業内容

千代田区内の様々な分野で優れた業績を上げる、中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる中小企業や他の企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」として表彰します。そしてこの表彰により、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりを目的としています。

□事業規模

応募予定社数	第3期実績	達成率
30社	30社	100%

[決算額]

3,495,702 円

(当初予算 4,177 千円)

[第3期実施状況]

今期は予定件数である30社を達成することができました。区内企業が参加する展示会やイベント等におけるセールス活動及び関係団体に働きかけを行った成果が上がったものと思われます。

東京中小企業同友会千代田支部長賞については、今後継続的にご提供いただくこととなりました。また、大賞を受賞した「株式会社すららネット」は、経済産業省の日本ベチャー大賞の社会課題解決賞を同時受賞しました。

今回のエントリーは、例年通り情報・IT サービス業が多いですが、教育、文化伝統、環境関連事業、印刷業等幅広い業界からのエントリーがありました。

○主な経緯

募集期間	平成27年7月15日～平成27年9月30日
実地調査	平成27年10月～12月 随時実施
審査委員会	平成28年1月11日 開催
諮問委員会	平成28年2月 3日 開催
表彰式	平成28年2月26日 開催

○受賞企業

大 賞

「株式会社すららネット」

千代田区長賞

「株式会社バイオレンジャーズ」

東京商工会議所 千代田支部会長賞

「瀬味証券印刷株式会社」

東京中小企業同友会 千代田支部長賞

「堀江車輛電装株式会社」

優秀賞

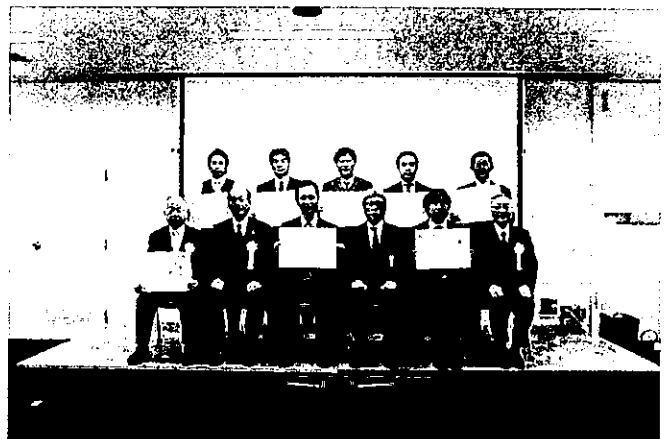
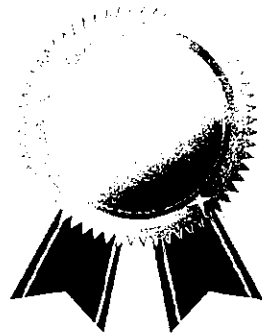
「株式会社新京清堂」

「新東科学株式会社」

特別賞

「株式会社シンカ」

「エニカ株式会社」



[評価等]

受賞を逃したエントリー企業に対しフォローの経営診断を募ったところ、13社から応募があり、中小企業診断士による今後の課題・改善点等のアドバイスが行なわれました。

今後とも事業の周知を図るとともに、大賞の価値をあげられるように努力することで、更なる応募増を目指します。



b) インキュベーション施設活動支援

□事業内容

ちよだプラットフォームスクウェアの活用事業であるプラットフォームサービス株式会社をはじめ、千代田区内のインキュベーション施設（SOHO 事業者・ベンチャー企業の支援施設）を運営する事業者の定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、相互の連携を深めていきます。

□事業規模

協議会予定回数	第 3 期実績	達成率
1 回	1 回	100%

[決算額]

273,104 円

(当初予算 75 千円)

[第 3 期実施状況]

現在 8 施設が参加しています。5 月に連絡協議会を実施しました。

各施設の現状・課題について協議し、各施設間のより一層の連携が確認されました。また、協議会参加団体を掲載した「千代田区インキュベーション施設」一覧のパンフレットを作成し、関係機関、関係団体に設置していただき、区内インキュベーション施設の周知を開始しました。

○連絡協議会参加団体・施設名

「ちよだプラットフォームスクエア」	「ビジョンオフィス神田」
「一番町インキュベーションセンター」	「ナレッジソサエティ」
「クリエイターズオフィス イーブリッジ」	「ベンチャー・KANDA」
「四ツ谷レンタルオフィス」	「EDITORIAL 神保町」

[評価等]

今後も、起業者等が千代田区内に引き続き事務所を確保できるよう、入居者のニーズにあう施設を紹介・斡旋するようにしていきます。

協議会を定期的を開催することで、相互の連携を一層深めていきます。

ｃ）千代田区商工団体連携強化連絡協議会の運営

□事業内容

千代田区商工団体連携強化連絡協議会の事務局を運営します。協議会では、情報交換に加え、情報発信の一元化を目的とする「千代田区商工団体イベントナビ」の安定した運用に向けて、定期的に協議会を実施し、更なる充実に向けて協議を重ねます。

□事業規模

協議会予定回数	第３期実績	達成率
２～３回	１回	-

[決算額]

158,184 円

(当初予算 262 千円)

[第３期実施状況]

区内のイベントを総合するホームページ(HP)を作成し、運用しています。今後の運営、方策を検証・検討しました。

○連絡協議会開催日

平成 28 年 ３月 7 日 「イベントナビの運用報告・今後の運営について」

○参加メンバー

「千代田区商店街連合会」

「千代田区商店街振興組合連合会」

「千代田区商工業連合会」

「東京中小企業家同友会千代田支部」

「東京商工会議所千代田支部」

「千代田区観光協会」

「東洋美術印刷株式会社」

「千代田区」 「まちみらい千代田」

[評価等]

今後も引き続き運営と運用について、本協議会において検討をしていきます。

d) 地場産業活性化支援

□事業内容

千代田区の地場産業である印刷関連産業の再生をめざして、まちみらい千代田と株式会社千代田印刷会館及びプラットフォームサービス株式会社の三者の協力により、まちみらい千代田が千代田印刷会館よりフロアを借受け、それをプラットフォームサービスに転貸することで保証金を無くし、また、リニューアルをまちみらい千代田が行い、その費用をプラットフォームサービスが長期分割返済する方式を採用することで、運営主体となるプラットフォームサービスのイニシャルコストを軽減し実現したものです。

この施設には、千代田区の地場産業である印刷関連産業が集積するインキュベーション施設として、印刷関連企業、メディア・映像・コンテンツ企業・情報関連企業を中心に入居しています。

□事業規模

3フロアでの事業を実施しています。

予定借上階	第3期実績	達成率
5・6・7階	5・6・7階	100%

[決算額]

14,666,832 円

(当初予算 14,666 千円)

[第3期実施状況]

計画通り実施しました。

*5月末現在の入居状況 16社(1空室)

[評価等]

空きビル対策のモデルケースの一つとして考えています。

Ⅱ 起業支援

a) ビジネス起業塾の開催（拡充）

□事業内容

経済社会の新陳代謝、経済への活力、新たな雇用の創出などが期待される起業を促進するため、起業を目指し、或いは起業後間もない事業者などを対象に開催します。内容は、起業に際して必要なカリキュラムとし、スムーズに起業をすることができるようになることを目的とし、修了者に対しては起業・事業展開につながるサポートを実施します。

昨今の女性の起業意欲に應えるため、女性を対象とした「女性起業家編」と、対象を限定しない「一般起業家編」の2コースに分けて実施をします。

□事業規模

1 コース全9回 定員20名の講義を1セットとして実施し全3回実施します。専門講座は全3コマを1コース試行

予定回数	第3期実績	達成率
女性起業家編 2回	2回	100%
一般起業家編 1回	1回	100%
専門講座 1回	1回	100%

[決算額]

1,858,430 円

(当初予算 2,264 千円)

[第3期実施状況]

女性起業家編を2回、一般起業家編を1回、計3回の起業塾を開催しました。応募については概ね定員に達しておりますが、業務の都合等で直前に辞退される方が多数でたのが今期の特徴です。託児サービスの利用においては、昨年度ほどの利用件数はありませんでしたが、利用された方には大変好評でした。

受講者は、サラリーマン、OL、主婦、公務員など20代から60代までの幅広い層の方々に受講いただきました。

また、今期は試験的に、マーケティングに特化した専門講座（全3回）を、修了生を対象に実施した結果、大変好評でした。特に、プロのカメラマンに

よる企業PRの講義と実技は好評でした。

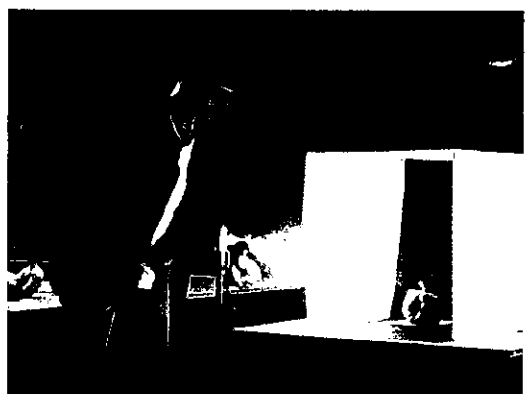
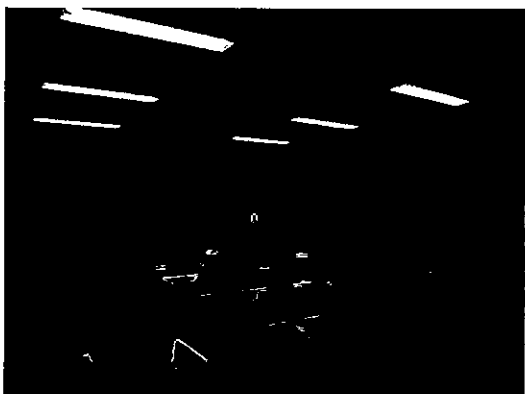
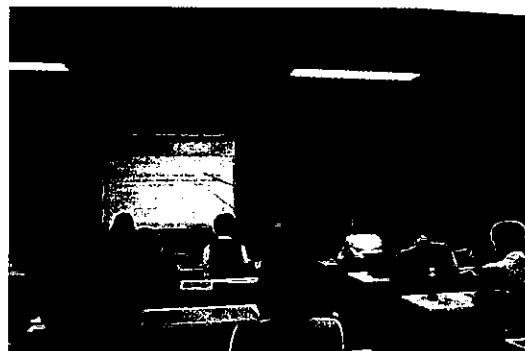
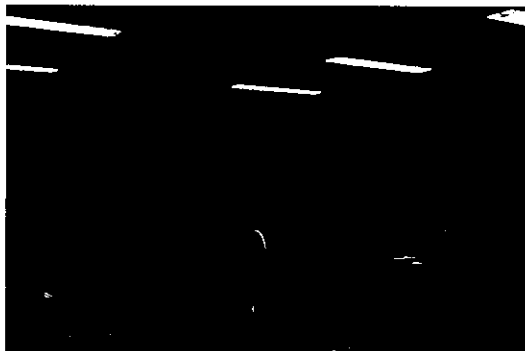
○開催日程

女性起業家編①	平成27年 6月 4日	～	平成27年 7月30日
一般起業家編	平成27年 8月21日	～	平成27年10月15日
女性起業家編②	平成27年10月22日	～	平成27年12月17日
専門講座	平成28年 5月12日	～	平成28年 5月26日

[評価等]

受講者アンケートでは、「起業についてより具体的に考えることができた」「自分のわからないところに気づいた。事業計画の重要性を認識できた」「金融機関の担当者からの説明はとても参考になった」「財務の授業をもう少し長くやってもらいたい」等、たくさんのご意見をいただきました。

また、以前のアンケートで「もっと詳しく聞きたい科目があった」との声を多数頂戴しましたので、今期より個別の科目に絞った専門講座を試験的に実施しましたが、とても良かったという声と専門講座を定期的の実施して欲しいとの要望がありました。



Ⅲ 地方との連携

a) 市町村サテライトオフィス東京の運営

□事業内容

プラットフォームスクウェア内にスペースを設け、単独では東京に拠点を設けるのが困難な地方の市町村の活動拠点を安価に設置できるようにしています。また、各地方間の連携を図るため、利用団体間の情報交換や地域活性化のための勉強会を年2回開催しています。

□実施予定時期 通年

□事業規模

項目	予定数	第3期実績	進捗率
入居団体	18団体	7団体	39%
勉強会	2回	2回	100%

[決算額] 166,026 円
(当初予算 278 千円)

[第3期実施状況]

現在7市町村が入居しています。10月8日にフードバレーネットワーク会議も兼ねて拡大する形で市町村サテライトオフィス東京の勉強会を開催し、平成28年3月1日の釜石フェアでも勉強会を開催しました。

また、東北5県の市町村にパンフレット等を送りPRを行った結果、17件のアンケートの返信があり、そのうち5件が入居について今後検討したいとの回答をいただきました。しかし、利用までには至らなかったため、引き続き働きかけを行っていきます。

[評価]

いくつかの市町村が退出し、その理由としては補助金が終了したり、東京での業務が終わったりとのやむを得ないものもありました。一方、人的なネットワークは広がったり、PR拠点があることで営業に結びついたなどのメリットがあったものの、活用しきれていないとの意見もありました。今後とも利用促進を図るとともに、支援のあり方についてもヒアリング等を行い検討していきます。

b) 青空市等の支援

□事業内容

地方と都市の連携による地域活性化に取り組むNPO 法人と市町村サテライトオフィス東京に入居している団体も参加し、各地元の特産品等の物産を千代田区で販売する取組みを行っています。

この取組みを応援するため、まちみらい千代田は各種PR等で協力しています。

この取組みの新たな展開としてホテルで行う「ホテ市」や再開発施設に設けられた広場での「マルシェ」が行われるなど発展・拡大しています。

□実施時期

青空市（1月を除く）毎月第1水曜日

ホテ市 四半期に1回

WATERRAS マルシェ 年12回

□事業規模

項目	予定回数	第3期実績	進捗率
青空市	10回	6回	60%
ホテ市	3回	1回	33%
WATERRAS	12回	22回	183%

[決算額] 0円
(当初予算 17千円)

[第3期実施状況]

青空市については、定期的な実施は10月をもって終了し、その後の実施は4月となりました。今後地域の物産に関しては、常設の「ちよだいちば」にて、引続き販売していくこととなります。

[評価]

様々な出展者が参加していただきにぎわい創出に貢献しましたが、キッチンカーによる弁当販売に引き継がれ、一定の役割を終えたと考えます。

物販については、常設となる「ちよだいちば」に重点を移していきます。

c) フードバレーネットワークの連携調整（拡充）

□事業内容

千代田区が持つ集客力、情報発信力を活かして、「場」の提供を求める地方都市との交流を深める考えから、平成 24 年に改訂された千代田区商工振興基本計画の中で「農商工連携による地方都市との交流促進」をうたっています。

このことを踏まえ、まちみらい千代田では、生産地と消費地が協力し合い、互いの地域産業振興を図ることを目的に、フードバレーネットワークの取り組みが効果的に推進できるよう調整を図ります。

千代田区が、大消費地としての集客力と情報発信力を利用して、地方との連携のハブ機能を果たせるよう支援していきます。

□実施時期

通年

□事業規模

イベント予定回数	第 3 期実績	進捗率
2 回	5 回	250%

[決算額] 0円
(当初予算 4,572 千円)

[第3期実施状況]

10月8日開催の「ちよだフードバレーネットワーク勉強会」では、新潟県の雪室貯蔵食品（雪室で貯蔵・熟成された食材を使用した料理）についてのセミナーを行った後、雪室料理をかこんだ懇親会を行い、多くの方々が雪室料理を堪能しました。

10月9日（金）～11日（日）には、東京国際フォーラムにて実施された「東京味わいフェスタ 2015」に「ちよだフードバレーネットワーク」として参加しました。東日本大震災の被災地からも多数参加いただき、多くの方々に地方物産等のPRをすることができました。

11月21日（土）～23日（月）には、有楽町駅前広場において、「オータムマルシェ」として、地方物産のPRを行いました。

平成 28 年 3 月 1 日（火）には、ちよだプラットフォームスクウェアにお

いて、「よみがえれ釜石」トークセッション&懇親会を開催し、その中で釜石の食材をふんだんに使った料理を提供した「釜石フェア」を実施しました。

また、3月25日（金）～3月27日（日）には、靖国神社で開催された、「千代田のさくらまつりフェスティバル」にフードバレーネットワークでブースを確保し、6市町村が出店しました

・東京味わいフェスタ 2015 出展市町村

岩手県釜石市、岩手県大船渡市、宮城県亘理町、福島県白河市、
福島県いわき市、新潟県新潟市、島根県邑南町、島根県海士町、
宮崎県日向市、長野県小布施町、

・オータムマルシェ出展市町村

北海道帯広市、岩手県釜石市、岩手県雫石町、秋田県由利本荘市
岩手県亘理町、福島県白河市、石川県穴水町、茨城県かすみがうら市
静岡県南伊豆町、長野県飯島町、島根県海士町、島根県邑南町

・千代田のさくらまつりフェスティバル出展市町村

岩手県釜石市、静岡県富士宮市、静岡県西伊豆町、長野県小布施町
島根県海士町、島根県邑南町

〔評価〕

各イベントを通じて、出展自治体の物産のアピールができました。今後もこれらの場を活用し、各自治体のPRを進めるとともに、「ちよだフードバレーネットワーク」に参加していただけるよう積極的に連携をとっていきます。

協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに、皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをします

協働まちづくり	
Ⅰ まちづくり活動支援	a) 千代田まちづくりサポートの実施 P.47 b) 区の花さくら再生基金の管理 P.50
Ⅱ 情報の発信と交流	a) まちみらいニュースの発行 P.52 b) 事業報告会の実施（新規） P.53 c) 地域ポータルサイト「千代田デイズ」の運用（拡充） P.54
Ⅲ 調査研究等の実施	a) 無償貸付施設の活用方法調査（新規） P.55 b) 民泊実態調査（追加） P.56

I まちづくり活動支援

a) 千代田まちづくりサポートの実施

□事業内容

本事業は、自主的なまちづくり活動を行っている団体に対して、その活動経費の一部を助成するものです。今期は、従前の審査委員の方々、専門家・学識経験者及び「まちづくりサポート」に長年携わっていただいた方々の意見・提案を参考に、新たな制度で事業運用を行います。いままで以上に地域に根づいた活動の促進する、新たな「まちづくりサポート」の運営をスタートさせます。

□実施事項

	予定	実施日
まちづくりサポート公開審査会	6月	平成27年6月6日
まちづくりサポート中間発表	11月	平成27年11月28日
まちづくりサポート活動成果発表会	4月	平成28年3月5日

[決算額] 4,483,164 円
(当初予算 4,500千円)

[第3期実施状況]

○第15回千代田まちづくりサポートの実施

- ・2期において募集を行い、申請があった19グループについて、6月6日(土)に公開審査会を実施。14グループが助成を受けることとなりました。
- ・公開審査会の審査内容や審査結果などの概要は、千代田まちづくりサポート通信26号を発行し、賛助会員や関係者に配布しました。
- ・各グループからは、活動のため様々な要望や依頼を受けるなど、活動に対する支援を実施しました。
 - まちみらいニュースへの助成グループ活動の紹介(6回)
 - 出張所への助成グループの紹介(3回)
 - 町会長会議での助成グループ参加(2回)
 - 東京都への橋渡し・情報提供(1回)
 - 会議室、駐車場などの紹介(2回)
- ・11月28日(土)に中間発表会を実施し、各グループからこれまでの活動報告がなされ、審査会委員から様々なコメントをいただきました。

- ・平成28年3月5日（土）の活動成果発表会では、1年間の活動成果について各助成グループから発表していただき、予想を超えた活動が行われるなど、成果が認められました。
- ・活動成果発表会の概要については、千代田まちづくりサポート通信27号に記載し、広く広報いたします。
- ・第16回千代田まちづくりサポートについては、「はじめて部門」、「一般部門」、「テーマ部門」に加え、（一財）民間都市開発推進機構の拠出金を活用した「普請部門」を設け、5月30日（月）から募集を開始しました。

<第15回千代田まちづくりサポート 申請グループと助成金額（総額300万円）>

部門	団体名	申請額 (万円)	決定額 (万円)
一般	神保町コミュニティプラザ	50	40
一般	神田暮らし探検隊	26.3	25
一般	みんなでつくるまちづくり推進協議会	50	33
一般	東京高架下軌道	34	29
一般	神保町映画祭実行委員会	50	5
一般	神田一八エリア振興会	50	44
一般	On Any Sunday	24	22
一般	ユメラボ	40	5
一般	EATALK	50	
一般	チルリンピック実行委員会	15	11
一般	NPO都市住宅とまちづくり研究会	40	36
一般	共立女子大学 神保町 NeO	23	
テーマ	千代田まちづくりサポーターズ・ネオ	50	35
テーマ	Small Gathering Chiyoda	48	
はじめて	グリーンネイバーフッド千代田を目指す会	5	5
はじめて	トンボソリューションズ	5	
はじめて	リープ・ウィズ・ドリーム	5	5
はじめて	文人通りランチ会	5	5
はじめて	NPO 法人 MEMORO「記憶の銀行」	5	

○全国まちづくり会議 2015 in TOKYO への参加

10月3・4日、東京大学生産技術研究所にて、NPO 日本都市計画家協会主催による「全国まちづくり会議 2015 in TOKYO」が開催され、その中の「日

韓まちづくりセンターフォーラム」のセッションに参加し、千代田まちづくりサポートについての事業と助成グループの紹介をおこないました。

当セッションでは、日韓それぞれ4つのまちづくり支援団体から発表があり、その後、小グループに分かれて日韓のまちづくりの仕組みについて情報交換を行いました。

韓国のあるまちづくり支援団体は、まちみらい千代田の財源確保などに興味を示され、翌日、ヒアリングに来所いただいて、企業からの支援などについての質問があり説明いたしました。今後も引き続き、情報交換をしていくこととなりました。

○民間都市開発推進機構「住民参加型まちづくりファンド」の活用

千代田まちづくりサポートの新たな取り組みと財源確保のため、一般財団法人民間都市開発推進機構（以下、「民都」という。）の「住民参加型まちづくりファンド」に応募し、拠出金を受けることとなりました。マンションの空室や空きビルなどを活用したまちづくり拠点に対する改修費用や、それに付帯する事業について第16回千代田まちづくりサポート事業の「普請部門」にて助成を行う予定です。

〔評価等〕

3年ぶりの開催でありながら、すべての部門について多くの応募があり広報などの活動の効果があったと考えられます。

第4期（第16回）は、サポート事業の第二ステージと位置づけ、従来からサポート事業を支援してきた、「千代田まちづくりサポーターズクラブ」と、今期テーマ部門でサポート事業に関する活動をおこなった「千代田まちづくりサポーターズ・ネオ」とが5月に一般社団を設立し、今後、協働して運営をおこなう予定です。

募集部門と助成額は、はじめて部門5万円、一般部門5～50万円、テーマ部門最大50万円、普請部門（一次審査）10万円の4部門です。

b) 区の花さくら再生基金の管理

□事業内容

区の花さくらの周知活動や保全活動のための助成金となる基金の管理を行っています。

基金には「公益信託さくら基金」と「金銭信託さくら基金」の2種類があり、公益信託さくら基金は、さくらに関する普及啓発活動などに対してその活動費を助成しています。また、金銭信託さくら基金では、さくらを維持管理している団体に対して、その保全のためにかかる経費の一部を助成しています。

□実施時期

4月30日 助成募集

7月28日 運営委員会・助成決定

11月 助成金支払

□予定件数及び回数

項目	予定件数	第3期実績	進捗率
公益信託	7件	7件	100%
金銭信託	1件	1件	100%

[決算額] 5,500,000 円
(当初予算 5,517千円)

[第3期実施状況]

平成27年7月28日(火)開催「さくら基金運営委員会」で、H27年度さくら基金助成申請について、以下の通り決定しました。

■平成27年度 金銭信託さくら基金助成決定内容

No.	申請者(代表者)	申請金額(円)	内容等
1	千代田区長	5,500,000	① さくら再生・更新業務 (選定、伐採、植替、施肥、虫害防除) ②さくら再生工事 (植樹樹の改良等生育環境の整備工事) ③肥料等材料費 ④さくら再生事業事務経費 (金銭信託さくら基金助成審査会運営費)
		5,500,000	

■平成 27 年度 公益信託さくら基金助成決定内容

No.	申請者(代表者)	申請金額(円)	内容等
1	NPO 法人 東京樹木医 プロジェクト	500,000	樹勢調査、さくらの手入れ、花数調査等さくらのサポート活動を小学生やさくらサポーターと共にさくら教室を実施する。
2	桜を楽しむ会	260,000	①さくら料理教室を実施する。 ②さくら染め教室等を実施する。 ③さくらの枝等を用いた手すき和紙を作る。 ④さくらサポーター展の開催を実施する。
3	上智大学 公開学習センター	80,000	さくらに関するミニセミナーの開催 (年 2 回)
4	さくら美守り隊	130,000	募金活動、景観保全美化活動、道案内等を実施する
5	ANGLE s (上智大学)	28,000	真田濠の植物の保全活動を実施する。
6	さくらサポーター 事務局	500,000	・さくらサポーターへのさくら通信送付 (年 2 回) ・さくら基金活動の推進
7	区の花さくら連絡会 事務局	500,000	・区の花さくら連絡会の開催 (年 1 回) ・さくら通信の発行 (年 2 回)
計		1,998,000	

[評価等]

千代田さくらサポーター事務局（千代田区まちづくり推進部道路公園課）との連携を図りながら、適正な基金管理を図っていきます。

また、「まちみらいニュース」や「まちみらい千代田ホームページ」でも積極的にさくら再生の PR を行っていきます。

Ⅱ 情報の発信と交流

a)「まちみらいニュース」の発行

□事業内容

まちみらい千代田が実施する事業などについて、千代田区内に広く情報提供するため、「まちみらいニュース」を発行します。今年度も二面構成とし、年12回、毎月20日に「広報千代田」折り込みで発行します。発行部数は、毎号50,200部です。

なお、紙面の一部を有料広告スペースとして活用し、発行コストの低減に努めます。

□事業規模

予定回数	第3期実績	達成率
12回	12回	100%

[決算額] 3,094,569 円
(当初予算 4,751 千円)

[第3期実施状況]

まちみらい千代田の主要広報ツールとして、事業の紹介、まちみらい千代田自体の紹介を行ないました。

記事の掲載にあたっては、まちみらい千代田の事業体系の3本柱である「住宅まちづくり」「産業まちづくり」「協働まちづくり」のそれぞれの主要事業を中心に据えて、特に新規事業等、力を入れている事業についてはトップ記事にして読まれるように工夫しました。

[評価等]

読みやすいコラム記事を入れることで、紙面への誘導を図ったり、事業の結果を報告するなどして、次につながる紙面を作れたと思います。今後も読みやすい、わかり易い紙面を作って、まちみらい千代田の情報発信の使命を果たしていきます。

b) 事業報告会の実施（新規）

□事業内容

まちみらい千代田の賛助会員をはじめ区民や企業等に対して、まちみらい千代田の事業内容・実施状況等の報告を行うとともに意見交換や交流を通して一層の支援をいただくほか、賛助会員の加入促進に努めます。

□内容

- ・ 第3期の事業進捗状況報告
- ・ 賛助会員等との意見交換
- ・ 賛助会員のPR
- ・ 交流会 等

□会場

ちよだプラットフォームスクウェア会議室

□事業規模

予定回数	開催時期		達成率
	予定	実績	
1回	10～11月	平成28年2月	-

[決算額] 75,384 円
(当初予算 149 千円)

[第3期実施状況]

中断後、初めての取り組みということで、中間報告書の作成を待ってからの開催としたため、予定していた10～11月ではなく、翌年2月の開催となりました。

賛助会員企業、個人の方21名に参加いただきました。プラットフォームサービス株式会社田辺会長から「官民連携によるまちづくり」と題しての講演をしていただき、その後、会員の皆様とまちみらい千代田職員で懇談を行い、意見交換を行いました。

[評価等]

10年ぶりに報告会を開催し、まちみらい千代田の事業の説明を行ない、懇談の中で、忌憚のない御意見をいただくことができました。今回の報告会を踏まえ、賛助会員のPRの機会や互いの交流を図る等、来期はよりよい報告会にしていきます。

c) 地域ポータルサイト「千代田デイズ」の運用（拡充）

□事業内容

千代田区に在住・在勤・在学中の方や、観光・仕事で訪れる人など、千代田区と関わる全ての人にとって有用な情報を提供すべく、まちみらい千代田の事業関連情報の広報サイト兼千代田区地域ポータルサイトとして「千代田デイズ」を運用します。

地域イベント情報や、まちみらいニュース掲載事項、まちみらい千代田の事業情報など、千代田区・まちみらい千代田に関連する情報を掲載し、新たな活動・生活への手がかりを提供します。

今期は、「まちみらい千代田」WEB サイト上の情報を整理し、「千代田デイズ」への集約を進めます。さらに、スマートフォン等での利用を考慮して利便性の向上を図ります。また、ツイッター・フェイスブック等との連携により、さらに多くの方への情報発信に努めます。

□実施時期

予定時期	実施時期	達成率
8月	11月	-

[決算額] 3,476,952 円
(当初予算 3,775 千円)

[第3期実施状況]

WEBサイトの集約・統合が思ったより、時間を要する作業となり、予定していた8月がずれ込みましたが、11月に統合することが出来ました。

スマートフォン対応については、WEB サイトの統合に併せてまずは、トップページの対応を行ないました。

[評価等]

まちみらい公式ホームページを1本化することで、まちみらい千代田が一覧できる、わかり易いホームページにすることができました。

幅広い方にまちみらい千代田の事業をお知らせするツールとして、大きな役割を果たせていると考えます。更に統合後のWEBサイトの使い勝手の改良・スマートフォン対応ページの拡大について、要望や情報を集め来期の修正に向けて準備をします。

また、読まれるホームページを目指して、更にコンテンツも充実させていきます。

Ⅲ 調査研究等の実施

a) 無償貸付施設の活用方法調査（新規）

□事業内容

今後、千代田区から不要財産となっている建物等を借受ける際の管理、運営及び活用方法等について調査を行います。

□調査時期

平成27年6月から9月まで

[決算額] 1,000,000 円
(当初予算 2,000 千円)

[第3期実施状況]

西神田併設庁舎の活用方法に関する調査について、同様の施設運営に関する知見を多く持つ事業者にも業務を委託しました。

○提案をいただいた活用方策

- ・検討案① カフェ、千代田フードバレーネット、フィットネス、合宿所
- ・検討案② カフェ、飲食店、物販店、フィットネス、サービスオフィス

※西神田併設庁舎の概要

住所；千代田区西神田 1-3-4

建物；SRC 造（一部 RC 造）、延床面積 3,847 m²、地上 10 階・地下 1 階

用途；事務室（シルバー人材センター、千代田区社会福祉協議会等）

理容学校（東京理容専修学校）

貸付対象階；1 階～6 階、地下 1 階（延床面積 2,437 m²）

[評価等]

今回検討を行った西神田併設庁舎については、区から運営を任されることとなりましたが、当初の計画から区の方針が変わり、賃借希望があった地元の学校法人に賃貸することとなりました。

提案いただいた活用方策の一部については、地元の意見をうかがうとともに、学校法人が使用しない園庭などのスペースでの具体的な検討を進めます。

ｂ）千代田区共同住宅空き室利用〔民泊〕実態調査（追加）

□事業内容

区の緊急要請を受け、いわゆる民泊の実態について現状を把握します。

□調査時期

平成２８年２月から４月まで

〔決算額〕 991,440 円 （当初予算 0千円）

〔第３期実施状況〕

平成２８年３月１日を調査日として、大手民泊仲介サイトによる区内物件の検索結果と、これまでにまちみらい千代田が調査を重ねてデータ化している既存のマンション・カルテと突合させる等とした結果、民泊への提供が建物数９８棟、部屋数１９１件の確認ができました。

その後、民泊提供施設へ実際に宿泊する等、利用実態をさらに探求して、今後の調査に活かす内容としました。

〔評価等〕

現在、マンション等の住宅について、居住以外の目的で利用されていたり、空室や投資用などとなっている実態が見受けられます。

今回の調査は区からの緊急要請を受けて、いわゆる民泊の実態について現状を把握し、今後、国や東京都などの動向を踏まえた区の施策に資するものです。

引き続き第４期においても今回の調査に基き、管理組合へのアンケート調査、タワーマンション調査など、区内のマンション等の利用実態の把握に努めます。

理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した評議員会及び理事会は、次のとおり各議事について、可決及び承認を得ました。また、定款第35条の規定に基づき事業報告及び決算について監査を実施しいずれも適正と認められました。

(1) 理事会の開催状況

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	平成27年 7月30日(木)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第2期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第2期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田 財務規程の一部改正について
		議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
第2回	平成27年 8月28日(金) 書面表決	議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田 理事長の選定について
		議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田 副理事長の選定について
		議案第7号	議決日について
第3回	平成27年 11月26日(木)	議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田 就業規則の一部を改正する規則について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田 個人情報保護規程の一部改正について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催(案)について

		—	◎公益財団法人まちみらい千代田 第3期事業実施状況中間報告
		—	◎理事長・副理事長の職務執行状況報告
第4回	平成27年 12月25日(金) 書面表決	議案第11号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部改正について
		議案第12号	議決日について
第5回	平成28年 3月8日(火) 書面表決	議案第13号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期収支予算の補正(案)について
		議案第14号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		議案第15号	議決日について
第6回	平成28年 4月27日(水)	議案第16号	公益財団法人まちみらい千代田 処務規程の一部改正について
		議案第17号	公益財団法人まちみらい千代田 第4期事業計画(案)について
		議案第18号	公益財団法人まちみらい千代田 第4期収支予算(案)について
		議案第19号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		—	◎理事長・副理事長の職務執行状況報告

(2) 評議員会の開催状況

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	平成27年 8月27日(木)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第2期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第2期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
第2回	平成27年 12月18日(金)	—	◎公益財団法人まちみらい千代田 第3期事業実施状況中間報告
第3回	平成28年 3月16日(水)	議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期収支予算の補正(案)について
第4回	平成28年 5月24日(火)	議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について
		議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
		議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田 役員の報酬等に関する規程改正について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田 第4期事業計画(案)について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田 第4期収支予算(案)について

(3) 監査の実施

①中間監査

実施日 平成28年1月27日(水)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 理事長室

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第3期事業中間報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第3期中間時点での財務諸表

②決算監査

実施日 平成28年7月15日(金)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 5階 503会議室

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第3期事業報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第3期決算

以上、いずれも適正と認められました。